☆診察日案内☆

本館・新館場所	診療科名	センター名	診療日
新館3階	小児科	小児医療センター	毎日
	心臓血管外科	ハートセンター	火・木
	循環器内科	ハートセンター	毎日
	皮膚科 美容外来	皮膚科・形成外科・美容医療センター	※予約制 月・水・金
	皮膚科	皮膚科・形成外科・美容医療センター	毎日
	形成外科 美容外来	皮膚科・形成外科・美容医療センター	※予約制 月・木
	形成外科	皮膚科・形成外科・美容医療センター	月・水・木・金・土
	眼科	アイセンター	月・火・水・木・金
	産婦人科	女性診療センター	再診 毎日 ※水・土は予約制 / 初診 月・火・水・木・金 ※水は予約制
	小児外科	小児医療センター	毎日
	呼吸器・乳腺・小児外科	女性診療センター	毎日
	乳腺外科	女性診療センター	毎日
	呼吸器外科	呼吸器センター	毎日
新館2階	呼吸器内科	呼吸器センター	毎日
	消化器外科	消化器センター	毎日
	消化器内科	消化器センター	毎日
	内分泌・糖尿病内科	内分泌・糖尿病センター	毎日
	神経内科	脳神経センター	毎日
	泌尿器科	腎・泌尿器・膠原病センター	火・木
	腎臓・膠原病内科 膠原病	腎・泌尿器・膠原病センター	再診 火・水・金 初診 月・木
	腎臓	腎・泌尿器・膠原病センター	月・火・水・木・金
	東洋医学診療部 鍼灸		※予約制
	東洋医学診療部 漢方		月・水・木
	総合診療部		毎日
新館1階	健康管理科	予防医学センター	月・火・金・土
	整形外科	運動器・脊椎・脊髄センター	毎日
本館側西別館2階	リハビリテーション科		毎日
本館2階	歯科口腔外科		月・水・金
	麻酔科		月・水・金
	耳鼻咽喉科		火・木・土
	脳神経外科		月・水・金
	精神神経科		※予約制
本館1階	放射線科 乳腺腫瘍		火・金
	放射線科 治療		月・木・金
	腫瘍・血液・感染症内科	血液腫瘍センター	毎日

●休診日　日曜・祝日・振替休日・盆休(8月15日)、年末年始(12月29日～1月3日)

交通のご案内

地下鉄七隈線でご来院の方へ

「福大前駅」での下車となります。下車後、徒歩１分です。
改札口を出て右側(2番出口)が福岡大学病院方面となります。
定員20人乗りの一般用のエレベーターが設置されています。
※「天神南駅」からご乗車の場合(所要時間　約16分)
※「橋本駅」からご乗車の場合(所要時間　約8分)
※「福岡空港」、「博多駅」からの場合、「天神駅」で乗りかえです。
　天神地下街を通って七隈線「天神南駅」から乗車となります。

バスでご来院の方へ

「福大病院バス停」での下車となります。

天神から（所要時間　約30分）

天神警固神社三越前から14 114番のバスにご乗車ください。
天神協和ビル前(10)乗り場、あるいは天神福ビル前(12)乗り場からの場合、福大病院経由の140番のバスにご乗車ください。

博多駅から（所要時間　約40分）

博多駅前バス停(A)あるいは、福岡交通センター１階(4)乗り場から福大病院経由の114番にご乗車ください。

六本松・別府２丁目バス停から（所要時間　約15分）

14番、114番、140番で福大病院経由のバスにご乗車ください。

西新から（所要時間　約30分）

脇山口バス停で、95番の福大病院経由のバスにご乗車ください。
※便が少ないため、天神南駅から地下鉄を利用されることを、おすすめします。

自家用車でご来院の方へ

九州自動車道、福岡都市高速道路を利用する場合

九州自動車道、太宰府ICより福岡都市高速道路を経由し、堤ランプで降り、国道202号線(B福岡外環状線道路)に入り2kmほど直進して、福大トンネル出入口手前で右折し福岡大学病院方面に向かい福大病院東口交差点を右折してください。

西九州自動車道を利用する場合

※西九州自動車道(福岡前原道路)拾六町インターチェンジで降り、国道202号線(福岡外環状道路)の青果市場入口交差点を右折してください。国道202号線(福岡外環状道路)を4kmほど直進し、福大トンネル出入口手前で右折してください。梅林中学校交差点を左折後300mほど直進し、福大病院南口交差点を左折してください。

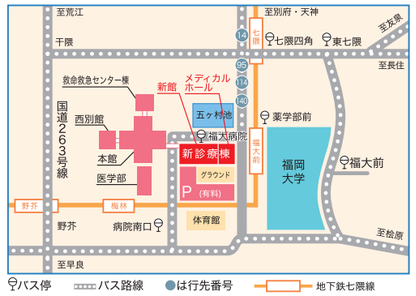
国道202号線バイパスを利用する場合

※天神、六本松方面から来院される方は、国道202号線(A別府橋通り)の中村大学前交差点を左折し3kmほど直進し、七隈四ツ角を過ぎると右側に病院が見えてまいります。
※福重、原方面から来院される方は、国道202号線(C今宿新道)の荒江四ツ角を過ぎ、国道202号線(別府橋通り)の中村大前交差点を右折し3kmほど直進し、七隈四ツ角を過ぎると右側に病院が見えてまいります。

国道263号線を利用する場合

※西新、荒江方面から来院される方は、国道263号線(D早良街道)の野芥四ツ角を左折し、県道49号線を1.2kmほど直進し福岡大学病院方面に向かい福大病院南口交差点を左折してください。
※三ツ瀬、曲淵方面から来院される方は、国道263号線(D早良街道)の野芥四ツ角を右折し、県道49号線を1.2kmほど直進し福岡大学病院方面に向かい福大病院南口交差点を左折してください。

●駐車場は有料です。(4時間以内200円、4時間超1時間毎100円加算)



福岡大学病院
〒814-0180
福岡市城南区七隈七丁目45-1
TEL　(092)801-1011(代)

発行：医療情報部　URL：http://www.hop.fukuoka-u.ac.jp/

FUKUDAI HOSPITAL NEWS

福大病院ニュース

2011 季刊
新年号
No.74

【平成22年11月27日に新館竣工記念式典が行われました。】

【新館北側の病室からは福岡市内が一望できます。】

新年の挨拶

福岡大学病院
病院長 **内藤　正俊**

新年あけましておめでとうございます。新春を迎えるにあたって、皆様に福岡大学病院の診療概況、新診療棟の開院、福岡大学病院の将来像について申し上げます。

福岡大学病院の診療概況

平成21年度の診療概況ですが、外来患者延数は327,361人、入院取扱患者数は275,268人でした。平成２０年度と比べると、外来患者延数は4,693人減少していますが、入院取扱患者数は逆に5,995人増加しています。平均在院日数は、平成20年度の16.5日が平成21年度は15.8日と短くなり、いよいよ忙しくなっています。最近の特徴は手術例数の増加です。平成11年に5,530例であった年間総手術例数が平成21年には7,106例になっています。最近10年間で1,576例、二次医療機関1施設の年間手術総数に匹敵する増加となっています。特定機能病院は外来診療よりも入院高度医療に重心を置くべきですので、入院患者数や手術例数が増え、とても良い傾向です。また、特定機能病院としての医学の進歩に合わせた高度医療を一貫して提供しており、そのために必要な最新鋭の医療機器を順次配置しました関係で本館だけでは明らかに手狭になっていました。正に時期を得た新館の開院となりました。

新診療棟の開院

4人部屋病室

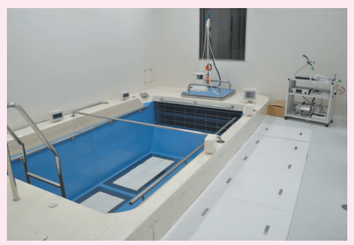
福岡大学病院新診療棟（新館、福大プラザ、福大メディカルホール）が今月4日に開院いたしました。新館は地下1階、地上7階建ての免震構造となっており、地下鉄福大前駅と直結し、本館とは渡り廊下で結ばれました。新館の1階から3階までの外来は臓器別センター化を基本とし、内科や外科の垣根のないトータルケアが可能になりました。予防医学センターではメディカルチェックや健康増進指導を行います。待合スペースは広く取り、患者案内表示盤や診療費自動精算機を設置しました。また外来は災害拠点病院として非常時に多くの被災者を応急収容する場所に転用できます。4階から7階までの病棟には本館から204床が移転しています。一般室は4人部屋で家族控室もあり、患者さんや家族に優しい設計になっています。スタッフステーションには看護師だけでなく薬剤師や管理栄養士等の業務スペースや点滴薬剤準備室も設け、業務効率や安全にも配慮されています。患者の安全と個人情報の漏洩防止のために各階に防犯カメラ及びICカード対応の電気錠を設置していますのでご安心ください。新館の地下1階にスターバックスコーヒーがあり、憩いの一時の場所としてご利用下さい。

メディカルフィットネスセンター内

福大プラザは地下鉄福大前駅と新館とを地下で直結する空間です。地下鉄七隈線沿線の地域住民や学生との交流の場になればと思っています。福大メディカルホールは新館に隣接する300席の講演会ホールで、講演会や各種研修会等に利用できます。講演会ホールの予約受付は病院の庶務課で行っていますので、是非、ご利用下さい。福大メディカルホールの地下1階にはメディカルフィットネスセンターを設置しています。心臓疾患患者のリハビリテーションだけでなく、新館の予防医学センターと連携し生活習慣病予防の運動療法等を行います。福岡大学スポーツ科学部と共同で運営し、水中トレッドミル、エアロバイク、負荷心電図装置、呼気ガス測定装置等の機器が備えられています。

福岡大学病院の将来像

福岡大学病院には特定機能病院としての高度医療の推進だけでなく、地域医療連携体制の中心的な役割の拡大と保健・医療・福祉関係の専門的な臨床教育施設としての発展が期待されています。厚生労働省は急性期から自宅へ戻るまでの切れ目のない医療連携体制の整備を目指しています。2006年の診療報酬改定では大腿骨頸部骨折に対する地域連携診療計画管理料を新設し、2008年にはさらに脳卒中を加え、2010年にがん治療連携計画策定料を追加しました。本院は既に第3次医療機関としての統率的な立場から主だった第2次医療機関との医療情報だけでなく、人的交流も視野に入れた総合的な医療連携体制の構築を創めています。さらに大学は「全入時代」を迎え、高い就職率と資格取得が志望校選びのキーワードになっています。健康志向の高まりもあり、看護師や薬剤師だけでなく理学療法士などの資格が得られる大学や学科の新設が相次ぎ、帝京大学では接骨師を養成する柔道整復学科も開設されました。本院では本学出身の医師、薬剤師、看護師だけでなく、他の大学や専門学校の学生、救急救命士のための臨床実習も行っています。将来、本学に保健・医療・福祉関係の新たな学科の新設にも対応できるようコメディカルの高度なキャリア教育のプラットフォームとしても益々充実できればと願っています。このためには築後37年経っている本館の建て替えを一日も早く軌道に乗せることが不可欠です。職員一丸となって頑張って参ります。


水中トレッドミル

小児医療センターについて

小児科
部長 **廣瀬　伸一**

新年あけましておめでとうございます。

福岡大学病院小児科では新年1月4日から、小児医療センターとして、小児科外来、小児科病棟が、また総合周産期母子医療センターとして、新生児集中治療室とその後方病床が地下鉄福大前駅直結の新診療棟で開院しました。何もかも新しい新診療棟で、大学病院として最先端の医療と同時に、温かい医療をこども達に提供できるようになりました。皆様どうぞよろしくお願いします。

小児科は小児医療センターとして、外来が3階に、病棟は5階にオープンしました。小児医療センター内部のデザイン化はアーティストの“ひびのこづえ”さんに「春の陽ざしと新緑の芽生え」のイメージでお願いしました。従来の「小児科＝かわいらしい図案」という短絡的発想ではなく、こどもも大人も落ち着ける空間に仕上げてもらいました。

小児医療センター外来診察室は12室に増設し、待ち時間の短縮をはかりました。陰圧空調の感染症診療室、心理療法室、授乳室等も備えており時代に即した外来としています。

5階の病棟も“ひびのこづえさん”のデザインにより、優しさと温かさが漂っています。例えば、エレベータで病棟に着くと、ウサギが若草に隠れるように迎えてくれます。傍らには「その子どもの幸せのために」という福岡大学病院小児科のクレド（信条）が掲げられています。さらに広い屋外施設も二箇所あり、光に満ち溢れた明るい病棟になっています。

一方で、高度医療を余裕を持って実施できる工夫を、病棟の随所に施しました。また、小児高度治療室（HCU）、骨髄移植などが行える無菌室、ビデオ脳波検査室を含め、特殊医療が実施できるよう、個室を主体に38床に増床しました。遮音の処置室や一新した医療機器により、こどもの笑い声だけが響く病棟での最先端小児医療を実現しました。

未熟児・新生児医療は4階の福岡大学総合周産期母子医療センター内で実施します。以前より、福岡大学の小児科は福岡県指定の総合周産期母子医療センターの新生児部門として、福岡市はもとより、福岡県内外の最重症の未熟児・新生児の受け入れを積極的に行ってまいりました。しかしながら、福岡市内の未熟児・新生児を受け入れるベッド数は常に不足していました。この状態を解消すべく、今年の4月からは、新生児集中治療室（NICU）を15床、その後方病床（GCU）を30床と、現在の約2倍に増床することにしました。それにあわせて、新生児専門医の数も倍増します。

NICUに隣接した分娩室では、帝王切開も可能で、出生直後に未熟児・新生児の治療が開始できるようになりました。感染症新生児室や、母子入院病室等も備えています。さらに、今回の移転に伴い、ほぼすべての医療機器を最新鋭機種に変更しました。これにより、日本でも類を見ない最先端の高度新生児医療が提供できる施設となりました。

新診療棟での福岡大学病院の小児・新生児医療にご期待ください。

小児医療センター外来

“ひびのこづえさん”のデザイン

新生児集中治療室（NICU）